

雪氷作業とは

【凍結防止作業】

路面の凍結が予測される場合に、凍結防止のため、事前に凍結防止剤を散布します。凍結防止剤として用いているのは塩化ナトリウムで、散布することによって水の氷点を低下させ、凍結を防ぐことを目的としています。

この作業は、車の走行帯が濡れていない場合でも、降雨や降雪が予測される場合、また路肩に除雪された雪が日中の気温上昇で溶けだし、気温低下に伴って再び凍結してしまうことが予測される場合などにも行います。作業は、確実な作業と交通の安全を確保するため、通常、時速50キロメートル程度で行います。

【除雪作業】

文字どおり降雪があり、路面に積雪が生じた際に行われる作業です。作業は、2～3台の除雪トラックがチームとなり、追越車線の雪を走行車線に、走行車線の雪を路肩に排除する方法で行います。通常、時速20～40キロメートルで作業を行います。

また、除雪を行った後、路面に残った雪が凍結してしまうのを防ぐため、凍結防止作業を合わせて行う場合があります。

